

情報セキュリティを学ぶ5日間

Security Camp

次代を担う情報セキュリティのトップレベル人材を発掘・育成

セキュリティ・キャンプ2025

【開催レポート】

全国大会 | ネクスト | ジュニア



What's Security Camp?

セキュリティ・キャンプとは

情報セキュリティ分野のエキスパート、リーダーとして、人々のために働く人材を育成する場です。あらゆる産業分野で、情報セキュリティに関する脅威が複雑化・高度化し、対策の重要性が年々高まっています。

次代を担う情報セキュリティ人材の候補として発掘・育成された「セキュリティ・キャンプ修了生」は社会の様々な場面で活躍しています。

開催概要 (2025年度実績)

Event overview



情報セキュリティに関する高度な技術教育と倫理教育を5泊6日の合宿形式で実施しました。今年も、全国各地から数百名の応募があり、対象年齢とレベルが異なる「全国大会」「ネクスト」「ジュニア」を、夏休み期間中に同時開催しました。

受講生は、受講料・交通費・宿泊費・食費が無料です。

【期 間】： 2025年8月11日(月)～16日(土)

【場 所】： LINK FOREST (東京都多摩市)

【主 催】： 独立行政法人情報処理推進機構

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会

【共 催】： 経済産業省

【後 援】： サイバーセキュリティ戦略本部、文部科学省、デジタル庁

【参加者数】： **全国大会** 79名 **ネクスト** 9名 **ジュニア** 7名





講師主査 木藤 圭亮

Message

セキュリティ・キャンプでは、セキュリティ業界の第一線で活躍する講師をお招きし、最先端のサイバーセキュリティに関する講義が5泊6日の合宿形式で実施されます。多くの講義はハンズオンやハッカソンの形式で実施され、キャンプ修了生であるチューターの補助も受けながら、自ら手を動かすことで理解を深めることができるため、授業や自己学習では学べない内容になっています。

学べるセキュリティ技術は有用である反面、サイバー犯罪に悪用される可能性があります。キャンプでは学んだ技術が悪用されないように、倫理・法律の講義を毎年実施しており、受講生全員が必ず受講します。

キャンプは「セキュリティ」という同じ興味を持つ同世代の仲間を作れることも魅力の一つです。キャンプ修了後も、修了生同士でコミュニケーションをとっています。中には修了生同士でものづくりを行い、海外のセキュリティ関連の有名カンファレンスで発表した事例もあります。

最後にセキュリティに興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひキャンプを紹介いただき、参加を始めていただければと思います。まだセキュリティに詳しくなくても、高度な技術を学べると同時に、同じ興味を持つ同世代の仲間が作れる機会ですので、ぜひともご紹介下さい。

共通講義について

情報セキュリティ技術が与える潜在的な社会的影響を理解し、技術を安全かつ倫理的に使用するための知識とスキルを学びます。全ての受講生が対象です。

共通講義 K1 『法律と倫理』

サイバーセキュリティに関係する刑事系法律の基礎的な内容として定められている事、その内容等を説明し、その後、法律面、倫理面及び道徳面の問題に触れながら、ディスカッションを行います。

共通講義 K2 『物語の力で情報セキュリティを発信すること ～アニメ「こうしす!」を例に～』

アニメ「こうしす!」は10年以上に渡り一般企業内のセキュリティインシデントを描く作品として、オープンソース方式で制作されてきました。アニメに留まらず、小説の出版や、テレビ放映、映画上映など様々な媒体を通じて発信した制作者の経験を元に、「物語の力で情報セキュリティ啓発すること」の魅力と難しさ、そして実践するためのポイントについて解説します。

共通講義 K3 『先端研究と社会への届け方』

先端の研究の現状と課題、さらにその成果の社会への届け方・社会実装、をテーマに、サイバーセキュリティのインフラとしての拡がり方、研究すべき領域などについて、国研の研究などを引用しながら対談を行います。

特別講義 T1 『海外のセキュリティコミュニティに飛び込む：その第一歩から最前線まで』

次世代を担う若手の皆さんに、海外のコミュニティに入り込む「最初の一步」だけでなく、コミュニティを活かしながら国際的に認められる実績やキャリア・ネットワークをどのように築いていくかについてお話しします。

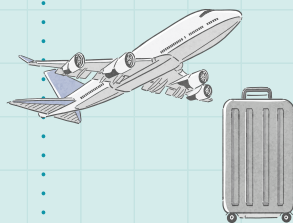
セキュリティ・キャンプの流れ (2025年度実績)

Day 0

受付準備



会場設営



15:00 前泊対象者受付

Day 1

12:30 受付開始



13:30 開講式



14:30 共通講義 K2



15:45 共通講義 K1

17:15 アイスブレイク

18:00 夕食

19:30 グループワーク



21:30

Day 2

07:00 朝食

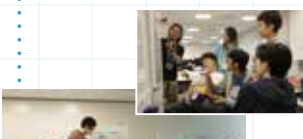
08:30 専門・開発 N1 J1



12:30 昼食



13:30 専門・開発 N2 J2



17:30 ラップアップ

18:00 夕食

19:30 共通講義 K3

20:45 LT大会

21:30

Security Camp Timeline

Day 3

07:00 朝食

08:30 専門・開発 N3 J3



12:30 昼食



13:30 専門・開発 N4 J4



17:30 ラップアップ

18:00 夕食

19:30 BoF

21:30

Day 4

07:00 朝食

08:30 専門・開発 N5 J5



※NOC



12:30 昼食



13:30 専門・開発 N6 J6



17:30 ラップアップ

18:00 夕食

19:30 特別講義 T1

20:45 LT大会

21:30

Day 5



※有志によるラジオ体操

07:00 朝食

08:30 成果発表



12:00 閉講式



12:45 交流イベント

Day 6

08:30 解散

セキュリティ・キャンプ

全国大会

2025

National Security Camp

全国大会は、セキュリティ分野に興味を持ち、将来同分野で活躍したいという意志をもった若者に対して、高度な情報セキュリティ技術の習得機会と、モラルや法律遵守の意識・セキュリティ意識・職業意識・自立的な学習意識向上のための機会を提供しています。



講義概要

コース	クラス	タイトル/概要
専門コース	IoTセキュリティクラス	IoTデバイスを取り巻く環境、そしてそのアーキテクチャと使われている技術をいくつか取り上げ解説し、演習を通じて理解を深めます。
	プロダクトセキュリティクラス	XaaSやX-Techの進化とともに拡大するセキュリティ課題に対応するための知識とスキル、および、設計・開発・運用の各フェーズにおけるセキュリティの要点を体系的に学びます。
	脅威解析クラス	サイバー攻撃者によってもたらされる脅威を解析し、得られた知見をもとに対策を生み出すためのクラスです。自力で脅威の本質を見極め、適切な対策を行える人材の育成を目指します。
	AIセキュリティクラス	LLMアプリケーションや画像識別AIを対象とした「攻撃と防御の手法」、信頼性の高いAI構築のための「学習データの精度向上」、生成AI時代のセキュリティマネジメントなどについて学びます。
開発コース	Lゼミ	『Rust 検証器自作ゼミ』 『高位言語から物理レイアウトまで半導体設計ワークフローを経験してMyLSIを発注しよう!ゼミ』 『TEEビルド&スクラップゼミ』 『Cコンパイラゼミ』
	Xゼミ	『IoT/組み込み機器のリバースエンジニアリングゼミ』 『ハードウェア魔改造ゼミ』 『センサーハッキングゼミ』 『無線通信ハッキングゼミ』
	Yゼミ	『Code Sanitizer・Fuzzer自作ゼミ』 『CDN自作ゼミ』 『探査機自作ゼミ』
	Zゼミ	『プログラム難読化・解析ゼミ』 『オフエンシブセキュリティツール徹底解析ゼミ』 『セキュリティ用AI Agent開発ゼミ』



かしわ たける

柏 武尊 さん

キャンプを知ったきっかけ

今年チューターの方から「参加したらもっと刺激もらえるんじゃない?」と紹介され「自分に合っている環境だな」と感じたので応募しました。アプリ開発でバックエンドを触った時、「自分のやりたい舞台はここだったんだ!」って気付いて、そこから一年半ぐらい勉強したんですけど、独学だとセキュリティを実装まで落とし込めなくて。そんな時期に、声をかけていただいたので、いい機会になっています。

応募課題への取り組み

第一印象は「難しい」です。1週間で草案を書いて、そのあとの1週間で推敲しました。勉強のために本を読んでいたのですが、あとからその本がキャンプの講師の方の著書だと知り、とても驚きました。嬉しくて、キャンプ当日にサインをもらいに行きました!

他の人に比べてセキュリティを勉強し始めたのが遅いので、参加したら誰よりも頑張ろうと思っていました。意欲を持って一生懸命振り絞って出したかなって感じはします。

参加する前と参加した後の変化

これまでは自分で調べられる範囲でしか勉強できなかったけど、講義で情報のシャワーを浴びることで、さらに深い学びにつながりました。講師の方のお話で、自分が見聞きしたこともないような世界に入って、視野も広がりました。自分に足りないものをいっぱい教えてもらえたので、帰った後に勉強することも明確になりました。キャンプには「セキュリティをやりたい」「コンピューターや情報工学が大好き」という人が集まっているので、グループワークでの会話は、これまで受けたことのない刺激でした。地元では技術的な相談をする人がいなかったんですけど、ここではそんなことはなく「上にはまだ目指せるところあるんだ」って鼓舞されました。



Takeru Kashiwa

友達も増えて、名刺やSNSの交換をしましたし、こういう人が日本にいるんだなって思うだけでも心強かったです。

将来は?

まず、大学で学んで、セキュリティ系のイベントにも踏み出していこうかなって思っています。こういう技術系のイベントへの参加は今回が初めてで、自分の伸びしろが見えてちょっと嬉しいという気持ちです。

応募を検討している人へのメッセージ

難しいことでも、どこまで自分でやろうとするか、心が引き出せるかっていうのが鍵になるかなと思います。知識が足りないって思っても、その意欲を見せることかなと。

あと、自分の手を動かしてみるのも必要だと感じています。動かしてみるとちょっとした糸口が見えますから、1回りあえず手をつけてみるといいかなって思います。

疑問に思ったところをぶつければ、講師の方々もチューターさんも優しいので、絶対受け入れてくれます。参加したら積極的に質問することも大事なかなと思いますね。



やまざき だいすけ

山崎 大介 さん

ITに興味を持ったきっかけは？

中学生の時にマイクラフトというゲームの拡張機能を作りたいと思ったんです。作っているうちに、ITパスポートというものがあると知って取得して。あ、今はセキスベ（情報処理安全確保支援士：登録番号第028545号）も持っているんですよ！

キャンプとの出会い

一昨年友人から話を聞いて。でも、その時はまだ自分の技術じゃダメかな、すごい人がいっぱいいるし無理だな、と諦めていました。今年はCTFで優勝したので「いけるかも!」と思って応募しました。あと、ちょうど、ネスペ（ネットワークスペシャリスト試験）を取ったのでCDN自作ゼミにいけるかなと思って。今回はZ1（プログラム難読化・解析ゼミ）になったんですけど、ちゃんと来てよかったなと思っています。

課題の難易度、かけた時間は？

3日ぐらいいかけました。2つのコースに出したので合わせて2万文字ぐらいです。解けるかどうかじゃなくて、思考の流れを聞かれているので、自分の思考を整理しながら、わかりやすく書きました。あと、過去に受講した皆さんがレポートを公開してくださっていたので、それも参考にしました。

参加後の変化は？

技術力の高い皆さんと触れ合うことで、自分のレベルが上がった感じがしました。それと、講師の方々が技術用語の細かいところから説明されているのを聞いて「こう伝えたら理解できるんだ」みたいなことが見えたりして楽しいです。実は、「難読化と解析」は事前課題で終わらせちゃったんです。なので、今日はちっちゃいコンピューター（仮想マシン）をパソコン上に作ったんです。さっき「Hello, world!」が出てきて「やったー!」って言っていたところでした。好きなこと



Daisuke Yamazaki

はどんどんできちゃう。今日はお昼ご飯行くのを忘れかけたりして（笑）。

将来は？

まずは大学に進学して、好きなことを学んで、深めたり広げたりして、最終的には国防もいいんじゃないか、と今のところ思っています。

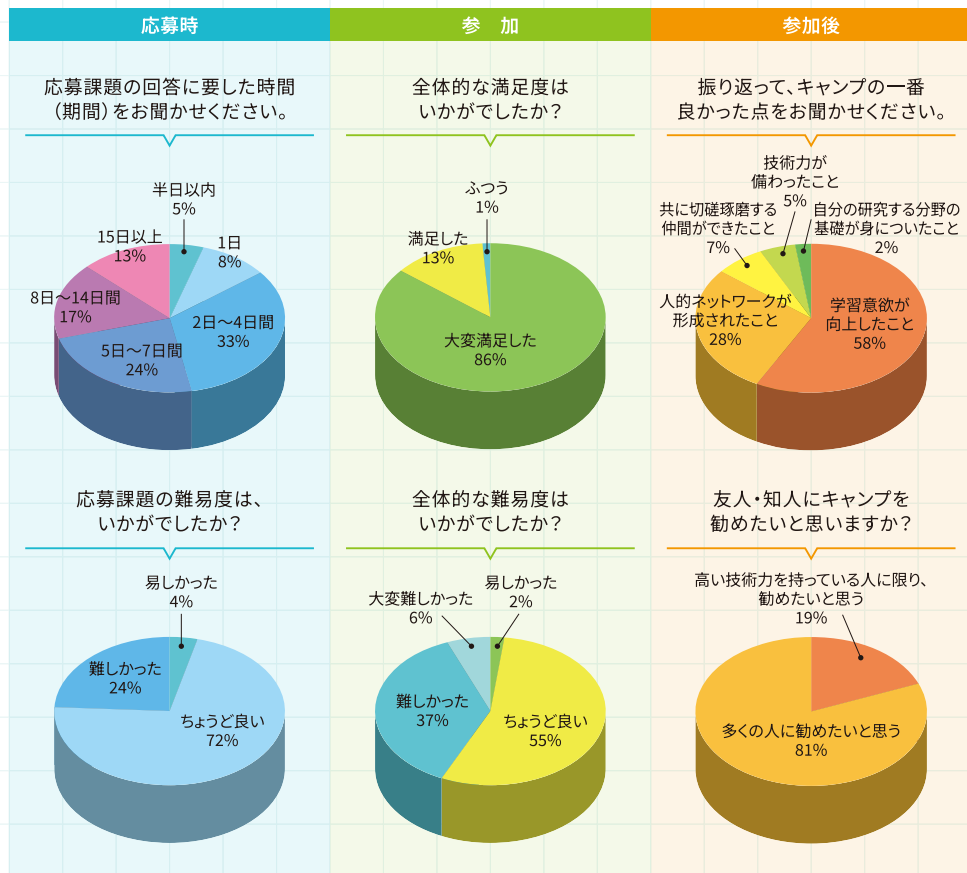
応募を検討している人へのメッセージ

不安を持って参加するよりは「自分はさらにレベルアップできるんだ」という思いを込めて参加した方が新しいことができていいんじゃないかと思います。知っていることを知っている範囲だけでやるよりも、その技術を使ってさらに新しいことをした方がいいと思いました。

参加してよかった点

普段は周りにいる人とあまり議論ができないんですが、ここでは講師の方とか他の受講生の方と話が通じるんですよ。3、4人で話したら議論が始まって、良いコミュニティだなと思います。それに今回は、7年ぐらい前からオンラインでよく話していた方とも会えたんです！
あと、ご飯がすごく美味しかった！7杯おかわりしていた人がいましたよ。僕も4杯ぐらいいきました！（笑）

受講生の声(全国大会・ネクスト・ジュニア)



挫折感をどのように解消しましたか? (「挫折感を感じた」と回答した人)

- ☒ 自身の知識不足が原因で問題の解決を図れず、挫折を感じた。
しかし、チューターの方や同じ受講生に質問や相談をすることで解消に至った。
- ☒ 同じ受講生で分からないところを聞いたりして、お互いの得意な部分を補うことで解決した。

キャンプに参加して、自分の中で変わったと思うことは?

- ☒ 今まで難しそうと思い敬遠していた技術に関しても積極的に学ぼうと思うようになった。
- ☒ 同年代でこれだけ出来る人がいるのだと思い知らされ、現状に甘んじていた自身に危機感をもつようになった。
- ☒ キャンプを通じて国内外で著名に活躍されている方々のお話を伺うことができ、そのキャリアに大きな憧れを感じました。
自分も将来、そのような方々を目標に努力していきたいと強く思いました。

キャンプに参加した経験を今後どのように活かしたいですか?

- ☒ 参加した経験をもとに、自分が興味を持ったことを突き進めていき、セキュリティ関連の研究などをしてみたい。
そして将来的には社会のセキュリティをより安全にしていきたい。
- ☒ 自分はセキュリティ、実装、理論のすべてに興味があるため、セキュリティについて学ぶとともに、
そもそも脆弱性が起きないような基盤技術を考えて、実装することに役立てたいと思います。

ネクストのテーマは「基盤技術の魅力」です。「〇〇を支える技術」と呼べるものを基盤技術と定義し、「社会基盤」「サービス基盤」「アプリケーション基盤」「開発者基盤」「物理基盤」「その他」の6つの分野に分類して、講義を設計しました。



講義概要

クラス	タイトル	概要
N1・N5	ハードウェア再現実装で学ぶアーキテクチャ解析	コンピュータシステムをFPGA基板上で再現します。講義を通じて、コンピュータシステムや解析技術に対する理解を深め、これからの技術発展にひらめきを得られるようになることを目指します。
N2	低レベルMN-Coreプログラミング	アクセラレーターの一つであるMN-Coreに焦点を当て、そのプログラミングを行います。プログラミングを通じて、CPUやGPUとは違うアーキテクチャを理解し、計算機の設計法やプログラミング手法としてのグラフコンパイラについて考える機会を提供します。
N3	C++の進化とライブラリ設計	C++11から最新のC++26までの機能を活用することで、利用者が安全なコードを効率的に記述できるようなC++ライブラリ設計を探究します。特に「安全でないコードを書きにくくする」という設計思想に焦点をあて、実践的な手法を学びます。
N4	TCP/IPプロトコルスタック自作入門	インターネットをはじめとする現在のコンピュータネットワークを支えている基盤技術「TCP/IP」のプロトコルスタックをスクラッチで実装し、実際のOSに搭載してネットワーク機能を持たせる演習を行います。
N6	DNSサーバーの運用における潜在的リスクと対処について	実際にシステムにやってくるさまざまなクラッキングを受講生に体験してもらうとともに、「どのような検知と防御が有効なのか」を一緒に検討します。



はしもと こうき
橋本 宏熙 さん

参加のきっかけ

ネットワークの研究を進める中、セキュリティも担当することになりはまっていました。また、友人がキャンプに参加していたので「じゃあ僕も」と思い応募しました。去年の9月にキャンプを知ったので、もう一年早かったら全国大会から参加したかったなと思います。

セキュリティへの関心

2年生の進振り(進学選択)で、電子情報・プログラムの学科に進み、初めてこの分野に踏み入れたので、セキュリティに関わるのはだいぶ遅くなりました。

3年生の夏休み集中講義でSQLインジェクションのハンズオンを見て初めて「面白いなあ」と思い興味を持つようになりました。そこからはCTFにのめり込んでいって。時には昼夜忘れてずっとCTFみたいな。健康にはよろしくないです(苦笑)。

応募課題のボリュームは？

多かったのは間違いないと思います。昨年と比べて募集の開始時期が遅れたけど、課題は去年と大差なかったので、全般的にちょっと辛かったのかな。それに、7月は大学の最終レポートや最終課題があるので、それと並行しながら周りの人も苦しんでいたと思います。スケジュールリングは結構大変でした。

寝ている時と食べている時、あと週4時間のデニス以外は大学の課題がキャンプの課題です。それでもまだまだやり残したことはありますが、「これは、どうなっているんだろう」とか、「この問題を解くにはどうすればいいんだろう」とって、考えている時間は楽しかったです。

参加前後で、何か変化があった？

知識がより身についたということです。例えばMN-Coreコンパイラを知ってはいても触れることはなかったので、知識から経験に結びつける



Kouki Hashimoto

ことができ、IT全般の知識経験が増えたなと感じています。もう1つはこの1ヶ月の短い中で、ある程度乗り越えられたことが成功体験になり、より自信につながって、この先も新たなものにチャレンジしようという精神が養えたなと思っています。

セキュリティを続けていく？

私はネットワークかセキュリティかはまだ揺らいではいますが、どちらかなり密接に関係しているので、そこを軸に取り組んでいき、世界で羽ばたく人材になりたいな、と。ただ、その方法として、就職するのかアカデミーに残るのか、まだ決めあぐねている状況です。もしかしら場所はまだ関係ないのかも、と思ったりもします。

応募を検討している人へのメッセージ

自分は大学2年の後半からプログラミングを始めたので他の人とは経験値に差があります。でも時間の長さじゃなくて、どれだけ何を考えてきたのかという点が選ばれたのかなと思っています。フルスタックエンジニアになるという点では、低レイヤからL7まで幅広く扱うので、いろんな経験を積んでみると応募の時に役立つと思いました。チャレンジしないと進まない、まずは応募課題を出さないと、ですね。

セキュリティ・キャンプ

ジュニア

2025

Security Camp Junior

ジュニアの最大の特徴は、独自のカリキュラムにあります。小中学生のうちにプログラミングやセキュリティの基礎をしっかりと学ぶことで、今後の学習効率が大幅に向上すると考えています。

そのため、座学ではプログラムやセキュリティの原理や仕組みを重視し、基礎力をしっかり養う講義を行います。また、ソフトウェアだけでなく、ハードウェアの視点からも学ぶことで、より幅広い理解が得られます。



講義概要

クラス	タイトル	概要
J1	オリジナルのコマンドを作ろう!	オリジナルのシェルコマンドを作成しながら、ソフトウェア開発に不可欠なスキル (Linuxコマンド、シェルスクリプト、正規表現、Git) について学びます。
J2・J4・J5・J6	個人開発	各個人のテーマに沿って、開発作業を行います。講師・チューターが常駐しているため、困っている点があれば、すぐに聞くことができます。
J3	電子工作入門	Arduino を使って LED の点滅 (Lチカ) から簡単なゲーム制作までを体験し、動くものを作る楽しさを学びます。

🎙️ interview



おかざき よしひろ
岡崎 義弘 さん

キャンプとの出会い

学校の先輩がジュニアキャンプに参加していて、その話を聞く機会がありました。とても楽しそう
で、僕もセキュリティについて学びたいと思い、
申し込みました。

セキュリティに興味を持ったきっかけは？

小学3年生の時に科学館のイベントに参加した
のがきっかけで、プログラミングを始めました。
セキュリティについては、「ネットワーク通信を暗
号化していないと、第三者に内容を盗み見られ
る危険がある」というような話も少しずつわかる
ようになってきて、興味を持つようになりました。

事前課題は難しかった？

回答形式は指定されていなかったもので、とりあ
えず1度、できる限りたくさん書いてみました。そ
れを先輩や詳しい人に相談して、ひたすら直し
て、締切り間際に提出しました。

期間としては、3週間ぐらいじっくりと取り組みま
した。

僕は、去年もジュニアに応募していたので事前
課題のイメージを持っていたし、広島でのミニキ
ャンプにも参加することができたから、今年こそ絶
対にジュニアに参加する!と決意していました。
これまでに頑張ってきたことを全て書いたらそ
の頑張りを認めてもらえるはずだ、と思いながら
取り組みました。

参加前、不安はありました？

参加前の事前学習にもしっかりと取り組んだの
で、あまり不安はありませんでした。
実際に参加してみるとジュニア全員のレベルが
高く、僕ももっと頑張ろうという気持ちになりま
した。



Yoshihiro Okazaki

キャンプ期間中、 壁にぶつかりそうになったことは？

講義中、シェルで複雑なコマンドを組み立てて
いると、途中で手順がわからなくなることあり
ました。でも、配布された資料を見たり、「これと
これ組み合わせたらいいかな」という感じでメン
バーと話したりしながら解決できたのでよかつ
たです。

将来のビジョン

プログラミングが大好きなので、プログラミング
関係の職業に就いたり、自分のしたいことで起
業したりできたらいいなと思っています。セキュ
リティ・キャンプが楽しすぎたので、次は全国大
会やネクストにも挑戦したいです!

応募を検討している人へのメッセージ

ジュニアはみんなとても仲が良く、プログラミ
ングやセキュリティについて楽しく学べます。本
当に素晴らしい環境なので、みなさんもぜひチ
ャレンジしてみてください!

専門知識が豊富な全国大会やネクストの参加
者と一緒に、自分ももっと頑張ろうと思える
し、そこを目指そうという目標も見えてくるはず
です!

講師インタビュー

Interview
No.01

なかむら あやか

中村 綾花 さん



Ayaka Nakamura

Q. キャンプとの関わり

2015年に全国大会を修了しました。2016年に全国大会やミニキャンプのチューターをして、その翌年はミニキャンプの講師を経験しました。チューターに応募しようと思ったのはやっぱりキャンプが楽しかったからです。

しばらく間が空いたんですけど、今回講師として参加させてもらいました。

Q. 講師になったきっかけ

今回は、会社の上司から声かけをしてもらって。本当に縁があって。

でも二つ返事とはいかなくてちょっと考えました。過去にキャンプに参加した時、非常にハイレベルな講義ばかりでしたので、「受講生の期待に応えられるような講義が私にできるのかな？」っていう思いがありましたね。

Q. 講師としての不安

教える内容があっても、それをどれだけ理解してもらえるか、というのが不安でした。教えるためにちゃんと理解していないといけないので、私の理解が足りないところはさらに勉強して準備しました。

実際に教えて理解してもらえたときは嬉しかったですね。人に教えるのが楽しいと思う人は、今後講師に挑戦していただくのも良いかもしれないですね。

Q. 準備期間は？

話が来たのが半年前かな。4か月～6か月かけて準備を少しずつ進めたっていう感じでした。一緒に講義を受け持つ先輩と準備をしていたので、大きな負担にはなりませんでした。

侵害された環境下で侵害の流れを解析してもらうクラスなので、その疑似侵害環境を作るところが結構時間がかかりますね。一個一個検証しな

がらなので。思いもかけないトラブルに出くわしながらも泥臭くやっていく感じで楽しいですよ。

Q. 応募を検討している人へのメッセージ

キャンプってとにかく手を動かすので、そういう泥臭いことが大好きな人がいいのかなと思います。

キャンプ当日ではCTFをやっていたんですけど、みんなガンガン手を動かしているのを見てると、持っている情熱が違うんだなって思いました。

最初の方は雑談しながらでも、最後の方になると、もう無言で「ガガガガ」ってやっていました(笑)。

私自身も多分そうだったんですけど、学校で教えられること以外に、自分が好きな技術を見つけてそれに対していろいろ試すことが大事だと思うんです。試すことができる、試すことがすごく楽しい、みたいに感じる人が、やっぱり強くなりますよね。

Q. キャンプへの思い

私が参加した当時は、所属していた学校では私はそれなりにできる方だと思っていたんですけど、キャンプに参加したら、他の受講生たちが私よりもずっと優秀だったので、そこで心折られる状況になりました。広い世界を見て「私よりもすごい人達ってたくさんいるんだ」って分かって。でもその人たちと交流するようになったので、自分の視野が広がる場所として非常に良い場所だなんて今は思っています。

Instructor interview

Interview
No.02

もろと ゆうじ
諸戸 雄治 さん



Yuji Moroto

Q. キャンプとの関わり

2017年全国大会の「集中 X トラック言語自作ゼミ」を修了して、2019年の「集中 X トラック」のチューターを務めました。
ネクストは2020年に修了して、21年と22年にチューターを、23年の沖縄ミニキャンプでネットワークの講義をして、ついに今年ネクストの講師になりました。

Q. 講師になったきっかけ

同期が講師をしているということがきっかけですが、今回はプロデューサーさんから依頼があって引き受けました。
ネクストはハイレベルのものを要求されるので、ミニキャンプとはだいぶ違いました。今回MN-Coreという、計算効率を改善させたアクセラレーターに焦点を当ててプログラミングを行ったのですが、インターネット上に情報がなく、受講生にとっては前提知識が少ないと思われたので、準備はだいぶしましたね。

Q. 準備期間は？

2か月ぐらいはかかっていますね。最初の1か月は土日とかを使ったりしたけど、ここ数週間は平日にも準備しました。

Q. 教える側になって気づいたこと

今回は、単にこのMN-Coreのアーキテクチャのプログラミング方法を教えるだけでなく、そのアーキテクチャのバックグラウンドにある思想や、グラフコンパイラーを実際に作ってもらうハンズオンも取り入れて、より深く広い理解を得てもらうことを目指しました。資料制作でも想定される質問とその回答を、AIを駆使しながら準備したりして頑張りましたね。

まあ、自分でも再確認したことで勉強になって、講師として良い経験になったなって思っています。

Q. 応募を検討している人へのメッセージ

ネクストは非常に多彩な講義で展開されているんです。コンピューターのすべての分野に精通する気持ちで受講している学生を待ってます、っていうのが僕の気持ちかな。

そうは言っても、とても興味のある分野が一つでもあれば、ぜひ応募してください！受講生はみんなハイレベルなので、それぞれ何かしら得意なことがある人たちです。めちゃくちゃすごい人たちから影響を受けて興味を広げることもできるし、仲間とともに成長していくこともできます！

Q. キャンプでの経験は活かしている？

キャンプで学んだ知識は、自分の力になっていると思います。特にネクストは本当に幅広い分野を横断的に教えてくれるので、いろんな引き出しが自分の中にできてとても良いと思っています。例えば、以前ロバストプロトコル・オープンチャレンジというイベントに参加した時、ネクストで得た知識を使って、プロトコルを作り環境が良くない通信回路でも、ちゃんとファイル転送できるようにしたことで優勝できたり、インターンに参加した時も、そこで出会った人の困りごとを聞く機会があって「これ、ネクストの講義で扱ったソフッドだ！」と気づいて、問題解決できたりと、「役に立って面白いな。本当にコンピューターの全ての分野に精通するんだ」と実感しています。

応募から参加までの流れの例



皆さんと会えることを楽しみにしています!!

セキュリティ・キャンプに関する詳細はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/security-camp/index.html>

お問い合わせ

IPAセキュリティ・キャンプ事務局(独立行政法人情報処理推進機構)
〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目28番8号文京グリーンコートセンターオフィス
✉ iac-camp@ipa.go.jp

詳しくはwebページまで

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/security-camp/index.html>

